



2022年7月6日  
株式会社 阿波銀行

合同会社三誠の「SDGs 宣言書」策定について  
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、合同会社三誠（代表社員 三好 誠二、本社：徳島県美馬郡）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

#### 【企業概要】

企業名	合同会社三誠
所在地	徳島県美馬郡つるぎ町半田字平良石 510 番地
代表者	三好 誠二
業種	あたご柿の生産及び販売業
設立	2018年3月1日

#### ○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

# SDGs宣言書

2022年7月6日



## 合同会社三誠 代表社員 三好 誠二

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境・経済	地産地消の推進	地域産の材料・食品・製品などの地域資源を積極的に活用し、地産地消・地産外商を推進します。	①地元食材の発信、インターネット、ECモール、アンテナショップでの販売増強		
			②2025年度までに売上10%増加（2022年比）		
環境・経済	消費者が安心して購入できる製品づくり	高品質で安全な生柿の生産商品とする柿の選定、加工時の衛生管理等品質管理を徹底します。	①製造過程での廃棄ロスの減少		
			②2025年までに廃棄0を目指す		
社会	高齢者の雇用促進	地域の高齢者の積極的な雇用を行い、地域の雇用を活性化します。	①地域の高齢者雇用を促進		
			②2025年度までの50～70歳の雇用者を20人まで増員		
環境	環境に配慮した製品づくり	生柿を育てる段階から除草剤を一切使用せず、化学肥料の使用も最小限にします。	①産業廃棄物になる牡蠣の殻を肥料として活用し、化学肥料の使用量を減少		
			②2025年度までに400kg減少（2021年:800kg）		

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



#### SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。